

2024年度第6回定例理事会議事録

第5回定例理事会を下記のとおり開催し、各議事等に係る質疑及びその経過並びに決定事項等は以下のとおりでした。

記

- 1 名称 2024年度第6回定例理事会
- 2 開催日 2025年2月18日(火) 11:00～
- 3 場所 白井市公民センター・1F会議室
- 4 出席者 出席者、欠席者
理事・監事 駒村武夫、宇津野嘉彦、尾籠和彦、津覇浩一、栗原光弘
畠山泰哲、秋山浩輝、岩渕浩明、木村光夫、高橋 誠、阿部利明、
藤本秀樹、伊藤邦宏、菅原 正、鈴木和宏、岩崎雄至、平川昌宏
野沢浩二、坂本龍悦、遠藤禎之、三輪 誠、奥村富央、上條精久、
永井雅一、山口裕矢、大久保恵寿、富増 達、朴 松梅、櫻井貞宏、
湯浅信一郎
幹事 後藤広和、増田英行、依知川豊樹、阿部真吾
青年部 山口裕矢 顧問 白山良一、野水俊夫
船橋労基協・白井支部長 倉持忠勝
事務局 染谷敏夫、梅本真己子、塚原幸恵

5 議 事

本日は、駒村代表理事が欠席したため、宇津野副代表理事が議長となり進行した。

よって、宇津野議長は、次の2議事について、説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から説明と提案があり、直ちに、議事毎に慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

第1号議事 2025年度事業計画(案)の件

別添「事業計画書(案)」のとおりとする。

(前年度との主な変更点)

- ・交流事業の拡大と継続の件
- ・防災体制の整備・備蓄の促進の件
- ・白井市公民センターの指定管理による利活用の促進の件

第2号議事 2025年度収支予算(案)の件

別添「収支予算書(案)」のとおりとする。

(前年度との主な変更点)

- ・災害対応に係る資機材の備蓄の件
予算額(支出): 600,000円
- ・白井市公民センターの指定管理に係る予算の件
予算額(収入): 600,000円
(支出): 120,000円

6 協議事項

議長は、次の第1号及び第2号協議について、説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から説明と提案があり、直ちに、議事毎に慎重審議した結果、全員一致をもって了承した。

なお、第3号協議として、宇津野副代表理事から市の未来創造戦略室において検討している企業バスの共同利用の検討部会を設置してはとの提案があり、了承された。

第1号協議 白井市との連絡調整会議の件

以下のとおり開催する予定です。

- ・日 時 2025年3月11日(火)、又は18日(火)のいずれか
10:00～
- ・場 所 白井市公民センター・レクホール
- ・内 容 白井市への要望に対する回答及び質疑について
- ・出席者 白井市：担当部署の職員
協議会：理事、監事、ブロック幹事・副幹事、その他

第2号協議 全国労働安全週間大会及び全国労働衛生週間大会等の 参加者増員対策の件

本件について、1月29日(水)に当協議会労働安全衛生推進委員会及び一般社団法人船橋労働基準協会・白井支部役員会の合同会議を開催し、労働安全衛生の意識の高揚を図り、もって労働災害を防止することとするため、いかに参加者を増やすかなどについて協議した。

(協議に至った背景)

労働災害の防止には、労働安全・労働衛生への各種安全対策の取組みと意識の高揚などが重要となっていますが、新型コロナウイルス感染症が収束した以降における全国安全週間大会等への参加者数が減少しており、また白井工業団地での救急搬送される事案が増加又は高止まり傾向となっている。

よって、意識啓発を徹底していくために全国安全週間大会等への参加者を増やして行く必要があることから、参加を促す方法等について以下のとおり協議したものです。

- ①周知方法について
- ②開催内容について（説明内容・テーマ、特別講演の内容又は要否、開催時間など）
- ③その他

◆参加社数の推移

(人)

区 分	安全週間	衛生週間	年末年始無災害	備 考
2019年度	143	138	130	コロナ前
2022年度	108	102	85	コロナ後
2023年度	101	106	92	〃
2024年度	97	93	85	〃

◆救急搬送の件数

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
17	33	26	16	24	24	28

《会議での主な意見》

①周知方法について

- ・出席者が固定化しているため、出席していない事業所に別に連絡をする。
- ・出席していない事業所には、担当者のほか代表者にも連絡をする。
- ・何のために出席するのか、何が得られるのか明確にする。
- ・出席率の悪い事業所には、再案内をする。
- ・参加者(社)が減っていること、救急搬送が増えていることなどの現状を周知し、参加を呼び掛ける。
- ・案内文の内容に参加者の状況や救急搬送の現状を入れ、必要性の意識付けをする。
- ・現行のメール、FAXでの周知のほか、封書での案内をすることで会社全体への周知を図る。

②開催内容について

- ・出席することによって、仕事との関係などにおいて何が得られるのかが重要であることから、内容を変える・内容を充実する必要がある。
- ・時間短縮をする。半日の出席は難しい。
- ・リモート開催を併用し、かつ時間短縮を図る。
- ・特別講演は、別の機会に行うようにする。
- ・各事業所に直接かかわるような内容にする。
- ・単純な説明でなく、パワーポイントなどを多用し、興味を引くものとする。
- ・実務的な内容が必要である。出席者と内容がマッチしていない。対象が事業所の担当者レベルか、事業所の上層部なのか見えない。
- ・内容について、事前アンケートによりテーマを絞って開催する。
- ・各企業は、何を知りたいのか、何が必要なのかなどを聞いて、開催する。
- ・消防署に事故の対処法などを聞くこともありでは。
- ・法改正などの説明は必要であるが、その他についてはマンネリ化しているので、興味がある内容にその都度変えていくとよい。
- ・外国人の雇用、立入監査の状況、残業問題、資格取得と雇用などといったテーマでの説明に興味がある。

③その他

- ・多くの方に興味を持ってもらうためには、リモートでの併用開催もいい手段である。
- ・デジタル化、IT化してポータルサイトでのビデオ録画がみられるようにする。意見が入力できるようにし、意見等が聞き取れるようにする。
- ・時間外労働の抑制が厳しくなっているので、ウェブでの視聴を進める。

《結果》

以上のことから、一般社団法人船橋労働基準協会の理事会において、本件協議内容を踏まえて、以下の要請をすることとする。

(1) 開催内容について

- ①「安全の指標」や「労働衛生のしおり」の通り一辺倒な説明でなく、各事業所や参加者が参加して意義があったと思えるようなものを説明又は講義をしていただきたい。
- ②毎回テーマを絞って具体的な事例や必要な事象・手続きなどの説明をして欲しい。

- ③説明側として、知ってほしい事項や取り組むべき事項などをパワーポイントを用いたりして、分かりやすく工夫した形で説明してほしい。
- ④特別講演は、別の機会を作って開催する。

(2) 取入れて欲しい内容について

- ①外国人雇用について
- ②実際の立入監査の状況について
- ③時間外労働への対処方法等について
- ④雇用と資格取得について
- ⑤実際の労働災害等の事例と対処方法等について
- ⑥法令等の改正内容と取り組み方法について

(3) 開催時間等について

- ①2時間以内に時間短縮する。
- ②ビデオ録画で見られるようにする。また、リモート開催を併用する。

※開催案内などの周知方法については、当協議会で工夫して対応することとする。

第3号協議 その他の件

宇津野副代表理事から市の未来創造戦略室が公共交通機関（バス）の改善策として検討している各社の企業バスを共同利用する仕組みづくりの件について、当協議会内に検討部会を設置してはどうかとの提案があった。

部会には、特に公共バスの改善を望む第2・3・ブロックの会員のうちから困っている会社を選考して入っていただければとの意見もあった。

なお本件については、今後、部会を設置し、協議会内の議論をまとめていくこととする。

7 報告事項

以下3件について、染谷事務局長から説明・報告をする。

第1号報告 2025年賀詞交歓会の件

以下のとおり開催し、会場レイアウトや料理について好評をいただき賑やかに進行了した。

- ・開催日時：2025年2月6日(木) 18:00～(受付開始：17:20～)
- ・会場：ホテルマークワン CNT (印西市・千葉ニュータウン中央駅南側)
- ・参加者数：85人(会員51人)

第2号報告 一般社団法人船橋労働基準協会・理事の推薦の件

1月29日(水)に当協議会労働安全衛生推進委員会及び一般社団法人船橋労働基準協会・白井支部役員会の合同会議を開催し、船橋労働基準協会の役員改選による理事2人を以下のとおり推薦することに決定しました。

- ・倉持 忠勝 (株)進富 執行役員
※白井支部長として推薦する。
- ・染谷 敏夫 (一社)白井工業団地協議会 事務局長
※4月から事務局長を交替する予定ですが、現在のところ再任とし、新事務局長を採用後に変更の手続きをする。

第3号報告 救急救命講習会の開催の件

以下のとおり開催する。

- ・日 時 2025年3月4日(火) 13:30~16:30
- ・場 所 白井市公民センター・レクホール
- ・定 員 30人
- ・参加費 1,000円/人
- ・実施機関 日本赤十字社千葉県支部
- ・講習内容 ① 傷病者の観察、傷病者の寝かせ方・保温 45分
② 心肺蘇生とAEDの使い方 30分
③ きずの手当て、傷病者の搬送 60分 など

※希望者が多く、約20人が受講できない状況にあるため、4月又は5月に追加の講習会を開催する予定です。

《全体を通した主な意見》

- ・化学物質管理者講習の開催を検討してほしい。
- ・救急救命講習は定期的な開催も可である。外国人向けの開催を検討してほしい。
- ・猫による被害（車道への急な飛び出し、事業所内への糞尿、ゴミあさりなど）が見受けられるので、猫の餌付けや飼い方の注意を協議会の会報等で周知願いたい。
- ・野良猫対策は、市にも直接要請していく。
- ・公民センターの利用の促進に協力していく。

(労働安全衛生関係)

- ・ビデオ録画やウェブ参加を進めると実際の参加者が減ってしまう逆効果ではないか。
- ・説明会の周知の徹底と内容の充実を図り、労災ゼロを目指す。
- ・労働安全衛生関係については、商工会とも連携をしていく。
- ・会場の駐車場がなく参加を取りやめてしまうことがあるため、リモート開催も可である。
- ・特別講演を別に開催することは疑問である。特別開催の方が興味がある場合がある。
- ・労働安全衛生関係の講習会を公民センターを積極的に活用して開催してはどうか。
- ・各社で意識の向上を図り労災を減らす努力をしていく。
- ・新型コロナの関係で出席者を少数にしてきたが、今後は関係部門の担当者、責任者の出席を促していきたい。
- ・開催時間が長いので、参加しにくい感もある。
- ・以前のようにポスターなどの販売を会場で行うことで参加者増につながるのではないか。

8 当面の会議・行事等の予定

今後の会議、行事等の予定は、以下のとおりです。

〈会 議〉

- 3月11日(火) ブロック幹事・副幹事会議 11:00~ 公民センター・会議室
- 3月18日(火) 3役会議 10:00~ 公民センター・相談室
- 〃 第7回定例理事会 11:00~ 公民センター・会議室
- 3月未定 各委員会
- 4月15日(火) ブロック会議 10:30~、13:30~ 公民センター・会議室

- 4月17日(木) 監査 10:00～ 公民センター・事務局、会議室
4月22日(火) 3役会議 10:00～ 公民センター・相談室
" 2025年度第1回定例理事会 11:00～ 公民センター・会議室

〈講習会〉

- 3月4日(火) 救命救急講習会 13:30～ 公民センター・レクホール
4月11日(金) 新入者安全衛生教育 9:00～ 公民センター

〈行事等〉

- 2月13日(木) 知財総合支援相談 産業振興センター
4月10日(木) 知財総合支援相談 産業振興センター
4月18日(金) サテライト相談 産業振興センター

9 閉 会

上記の決議等を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

2025年2月18日

一般社団法人白井工業団地協議会理事会

代表理事 駒村 武夫

監事 畠山 泰哲

監事 栗原 光弘